（様式⑦-1　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
「人から信頼され，何事も徹底してやりぬくたくましい子」

堺市立福泉中学校
校長　氏丸　重信

令和7年度　重点目標
「人とつながる機会の充実と学力の向上をめざし、安心感のある学校づくり」
〇つながり　　学級活動・各行事等で，生徒同士そして先生と生徒がつながっている学校づくり。
〇学力向上　　自ら学ぼうとする姿勢を育成する。（学ぶ楽しさを追求する）
〇集団づくり　学級活動・部活動など様々な活動を通じた集団づくり。
〇環境整備　　先生も生徒も清掃活動を大切にする。

確かな学びの現状
・授業に集中している生徒は年々増加しており，静謐な授業環境が形成されつつある。
・漢字，計算，英単語等，各教科で小テストを頻繁に実施しており，基礎基本的な学習内容の定着を図っている。
・各種テストの結果では「読む能力」「書く能力」を中心とした読解問題，文章問題の正答率が低いため，朝読書や家庭での読書習慣を定着させたい。
・問題形式では記述式問題を苦手とする生徒が多いため，日頃から自分の考えを表現させる課題をグループワークやタブレットを活用し提示する。
・テレビゲームやスマホの広がりにより，コミュニケーション力が低下しており，SNS上での生徒間トラブル等が散見される。

豊かな心・健やかな体の現状
・本校生徒は体育大会，合唱コンクールなどの学校行事はもちろんのこと，地域の祭礼など，行事全般に対して，お互いに協力して真剣に取り組む姿勢が顕著である。
・生徒間のつながりを醸成するため，生徒会が中心となり，校内放送や生徒参加型イベントを企画，実施している。
・各部活動とも活動が盛んでり，部活動を通して，豊かな心・健やかな体を育んでいる。
・遅刻，欠席が常習化している生徒に対しては，家庭連絡を密にするとともに，早寝早起き，朝食摂取の奨励など基本的生活習慣の改善を促している。
・人間関係や不登校等の課題を抱えている生徒に対してはスクールカウンセラーと連携し，課題の解決に努めている。また，教室に入りづらい生徒に対しては，無理のないペースで個別に学習に取り組めるように別室を設ける等，学校全体で不登校生徒へのきめ細かい支援に努めている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～12月）		達成状況(年度末) 学校教育アンケートでの肯定的割合(%)		自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	学力向上	わかる授業づくりを行う	●基礎基本的な学習内容を定着させる。 ●自分なりのまとめや考えを書いたり，発表したりする機会を設けることで，主体的に学ぶ習慣と態度を育成する。	・教員は教え方にいろいろな工夫をしているか。 ・定期テストやチャレンジテストの点数。	・学校教育アンケート	年度末	○	・動画・画像・PPTを活用しｲﾒｰｼﾞしやすい指導を行っている。また、生徒の考えをﾀﾌﾞﾚｯﾄを使用して共有化を図っている。 ・音読などの発話時間を設けたり、少人数授業を実施するなど、学習状況に応じた課題の提示と指導を行っている。（英・数）	○	82.4	・チャレンジテスト等の各種テスト結果では基礎的な内容が定着していない生徒が少なくなく、府平均に比して難問に対する無回答率の高さが目立つ。但し、学年によっては、昨年度に比べて無回答率は減っている。 ・引き続き，少人数授業や習熟度授業等できめ細かな授業を行い、小テスト等で基礎基本の定着を図る。 ・定期テストで平均２０点未満が約１２％である。	△	・学力の向上は長年の課題ですが、先生方の粘り強い指導をお願いします。 ・以前のように授業中に抜け出すような生徒は非常に減少しており、落ち着いた雰囲気で授業を受けれています。ですが、授業中に寝ている生徒が散見しているので、彼らへの支援をお願いします。
			●生徒が授業に興味，意欲が持てる授業づくり。 ★少人数授業の実施による，きめ細やかな指導。	・授業に集中しているか。			△	・大半の生徒は授業に前向きに取り組んでいるが，一部に授業に集中できていない生徒も散見される。	○	87.6	・多くの生徒は意欲的に授業に取り組んでいるが，落ち着きがない生徒も見受けられるので生徒指導担当を中心に，全教員で指導、見守りをしている。 ・「普段から授業に集中している」では89.2%である。	○	
		学ぶ習慣作りに取り組む	●授業において自らの考えを発表し、表現する「言語活動の充実」を進めるとともに，「読む力」の向上に取組む。 ●国数英の基礎的な学力向上のための単元テストを行う。	・家庭での学習や読書の習慣が定着しているか。			○	・小テストを実施し，基礎学力の定着を図っている。（国・数） ・少人数グループを活用し、生徒同士で教えやすい環境づくりに努めている。 ・5教科において、復習の時間を設定している。 ・ﾀﾌﾞﾚｯﾄを使用した調べ学習・発表などを実施している。	△	7.3	・読書習慣の定着率は低く、昨年度と変化はない。なお、読まない生徒は65%以上いる。 ・学校図書館をを学校司書、図書館担当教員と協力し、62日間開室した。来室者数は１３７１人（昨年度は１９０７人）。また委員会活動でPOP作りや本の紹介を行い、図書館利用や貸し出し等の意識付けをおこなった。	△	・昼休みの図書館の利用や貸し出し冊数が昨年度より下がったのは残念に思います。 ・ICT機器を利用した知識の補完には真偽が定かでない情報が多様に含まれているため、本を通じた確かな情報の補完が必要です。引き続き図書館教育の充実をお願いします。 ・生徒たちが家庭でも学習に取り組めるような課題の提示をお願いします。
			●自らで家庭学習を進められる課題を提示。	・自分から家庭学習をしているか。 ・基礎基本の宿題の提示。			△	・各教科において週1回を目安に基礎基本の宿題を提示しているが、提出しない生徒も見うけられる。	△	52.9	・調査「自らすすんで家庭学習をしている」では52,9%である。予習・復習を家庭学習で定期的におこなえるような課題設定をする必要がある。	△	
豊かな心・健やかな体	生徒指導体制の充実・健康指導	予防と育成の生徒指導体制を充実させる	●落ち着いた環境作りと，静謐な教育環境の確立。 ★チャイム着席運動の実施。	・全学年でﾁｬｲﾑ着席の取り組みを進める。	・学校教育アンケート	年度末	○	・全学年でチャイム着席運動を生徒会主体で実施。 ・各学年で独自のチャイム着席運動を実施。 ・毎学期，いじめアンケートを実施。必要に応じて，聞き取りや指導を実施。 ・リソースルームに通う生徒には，スクールカウンセラー等と連携して，見守り体制を構築している。 ・外部業者をよんで「スマホ安全教室」をTeamsを通して授業を実施。（1年）	○	・小学校から継続してテストの前後を中心にﾁｬｲﾑ着席運動を全学年で実施した。 ・調査「チャイム着席ができている」では96%である ・３月下旬に新入生予備登校を実施予定。中学校のルールや中学生としての心構えを伝える。	○	・今後もﾁｬｲﾑ着席運動を通じて生徒の規範意識を高めてください。 ・生徒からの相談、特にいじめ事案については、丁寧な対応をお願いします。教室とは別にリソースルームという部屋を設置して不登校生徒等の対応をしているのは良い取り組みだと思います。 ・リソースルームの取り組みで、少しでも学校に足が向いている生徒にはゆっくりとした継続的な取り組みをお願いします。また不登校生徒へのオンライン授業の提示もお願いします。 ・いじめアンケート等の定期的なアンケートは継続性が非常に大切かと思います。
			●生徒指導において、生徒が相談しやすい状況を作る。 ★中学校の校則等について，校区内の小学校の児童と保護者に周知する。	・福泉中学校の教員は悩みや相談に親身になって応じているか。 ・リソースルーム等のきめ細やかな指導体制。	・学校教育アンケート		○		◎	89.5	・家庭、スクールカウンセラー、外部の関係機関等と連携して、支援や指導が必要な生徒へのフォローを実施した。また様々な理由で教室に入りづらい生徒に向けたリソースルームを設置しており、教員やスクールサポーターが学習指導や相談に応じている。 ・調査「先生は悩みや相談に親身になって応じてくれる」では90%である。	◎	
			●いじめ・暴力行為などの問題行動に対しての対応。 ★スマートフォンの使用について外部講師による講演や「まもるんやさかい」等を活用した取り組みを進める。	・いじめアンケートを年3回実施する。 ・福泉中学校の教員はいじめや暴力などについてよく対応しているか。			○		○	89.9	・調査「先生はいじめや暴力などについて、よく対応してくれる」では88,3%である。 ・顕在化しづらいいじめや指導後の継続的な見守り等をアンケートを通して継続的に注視している。	○	
		健康に生きるための学習機会を実施する	●生徒会活動や各クラブ活動など，生徒の自主的な活動を支援する。	・部活動・生徒会や学級活動に積極的に取り組んでいるか。			○	・生徒会主催で全学年参加型イベントを実施。 ・小中部活動交流会を実施。 ・各学年で健康教育，性教育を実施。 ・中学1年生のギャップを緩和するために各小学校6年生からの「中学生への質問」を実施する。	◎	81.0	・調査「部活動・生徒会や学級活動に積極的に取り組んでいる」では88%、調査「清掃活動等のボランティア活動に積極的に参加している」では56%である。 ・部活動は非常に盛んであり、各大会で好成績を収めている。今後も部活動を通して、生徒の心身の健全な成長につなげたい。 ・生徒会放送や全校参加型クイズ大会等、生徒会役員が企画・立案したイベントを実施した。	○	・各部活動生の頑張りは福中だより等を通じて、地域にも伝わっており、嬉しく思います。今後も部活動を通じて、生徒の心身の健全な育成をお願いします。 ・今後も生徒が主体となる各行事の継続を。 ・地域の人材を活かした授業に関してはよい取り組みだと思います。これからも継続的にお願いします。
			●歯科，飲酒喫煙，薬物乱用，性教育等について，専門家を招いて，実施する。	・1年：歯科保健指導，性教育教室。 ・2年：飲酒喫煙防止，性教育教室。 ・3年：薬物乱用防止，性教育教室。			○		○		・各学年で健康教育、性教育を実施。 ・地域と連携した認知症理解セミナー、着物の着付け体験などを実施した。	○	
独自の課題	ＩＣＴ教育	生徒用タブレットの活用	●タブレットを積極的に使用し，視覚に訴えた教材を用いることで，魅力的な授業をめざす。 ●タブレットを活用した調べ学習や発表を行い，思考力・表現力・ICTスキルを育成する。	・タブレットを利用した授業頻度。 ・タブレットを利用した課題の提示や学びの共有。	・学校教育アンケート	年度末	○	・PPTで制作の説明や動画で授業に変化を与えている。 ・授業のまとめ，振り返り，課題等をタブレットに入力し，生徒間で共有。（理・社・道徳） ・フォーム等の動作を撮影し，改善点を視覚的に捉える。（体育）	○	84.2	調査「学校はﾀﾌﾞﾚｯﾄを活用したICT教育など、工夫した授業をおこなっている」では88%、調査「ICTを活用した授業はわかりやすい」では85%である。 ・教員間でICT教材を利用する頻度は上がってきている。 ・効果的なICT活用に向けて、教員間で活用事例の共有化を進めている。 ・生徒の健全なICTの活用に向けた指導を継続的におこなっている。また、SNSの問題のトラブルに関する話を、全学年警察にきてもらい講演してもらった。	○	・タブレットを活用したICT機器の活用を充実させて下さい。 ・生徒がICT機器を活用する時の危機意識を持たせてください。特に昨今、簡単に犯罪行為に加担もしくは巻き込まれる可能性が多くなっているので、生徒への注意喚起をしてほしい。 ・スマートフォンの使い方に関するルールなどを考える機会などを持つといった取組があってもよいのではないかと思います。 ・HPなみならずをtetoruによる配信が効果的であった（学校だより、学年通信、部活動の連絡等、クラスの連絡等）
	情報発信	ホームページ等で学校の授業や行事の様子を積極的に発信する	●学校だよりやホームページ等を通して，授業や部活動等の様子を積極的にを発信する。	・ホームページのアクセス数。	・学校教育アンケート	年度末	○	・日々，授業や部活動の様子をHPに掲載。 ・保護者への連絡はtetoruを活用。	○		・保護者にも頻繁に閲覧してもらうために、日々の学校生活の様子だけでなく、修学旅行や体育大会等の行事についても積極的に掲載してきた。 ・tetoruの活用により、非常変災等の突発的な連絡から、三者懇談など日々の業務の連絡まで迅速に対応できた。	○	

校長より(年度末)
部分的ではあるが学校アンケートにおける目標を上回る高い肯定的評価を得たこと、そして学校が安心安全な学びの場になっていることは、ひとえに保護者の皆様・地域の皆様の多大なご理解、ご協力のおかげである。これに甘えることなく「確かな学び」「豊かな心・健やかな体」「独自の課題」すべての項目でより一層工夫改善を推進し、充実した学校運営をめざしていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
・全体としては学校の雰囲気は落ち着いてきています。今後も静謐な学習環境を維持できるように，先生方の指導と生徒の皆さんの努力に期待します。
・いじめアンケートやリソースルームの設置など、学校は生徒に親身に対応している様子が伺えます。生徒の悩みや相談には先生方だけでなく、外部の関係機関とも連携して，親身に対応してください。
・生徒会や部活動生が中心になって、福泉中学校をより良い学校になるように，工夫してください。
・スマートフォン等を使用したSNSのトラブルなど、現代的な課題がある中で、学校だけでは対応が難しい案件が増えてきているのではないか。地域としても家庭とどう関わっていくかについては、考えていかないといけない。